巻頭言

「鉄道力」を伝えたい

（財）鉄道総合技術研究所 理事
熊谷　則道

今年４月から鉄道総研の出版物，技術講演会等を取りまとめる監修委員会を率いることになりました。本誌面をお借りして，ひとことごあいさつ申し上げます。

鉄道総研では，鉄道に関する研究開発の成果を，技術論文誌「鉄道総研報告」，英文の論文誌「クォータリ・レポート：QR of RTRI」，技術解説誌「RRR」等の出版物に掲載して社会に発信しています。本誌「RRR」では各号に鉄道技術のテーマを設定して，鉄道の技術上の仕組み，研究開発の取り組み，成果等を図や表を多用して分かりやすく解説することをねらいにしています。

鉄道総研は，技術開発によって鉄道の発展に寄与していく研究機関です。研究開発の実施に際しては，鉄道は交通機関として人々にとってどのような役割を果たしているのか，鉄道を利用される方は鉄道に何を期待されているか，を考えることが大事であると思います。

第一の役割は交通機関として，安全で確実な輸送を行うことです。第二には，多くのお客様の移動を速く，快適に行うことです。そして，第三の役割として，地球環境を守ることへの社会の関心が高まっている今日，環境に調和した交通機関に成長することです。これは，単位輸送量あたりの二酸化炭素の排出量が少ない鉄道への輸送のモーダルシフトの推進につながります。こうした役割を確実に果たすことにより，鉄道の機能や特徴を一層強めることができます。鉄道の特徴は，安全性，速達性，高密度性，定時性に代表されます。これらの鉄道の特徴を総合的に表す言葉として「鉄道力」と呼ばせていただくとすると，「鉄道力」を強め，充実させていくことにより，社会の発展へ貢献できると確信しています。

鉄道は欧州で誕生し，産業革命を支えたイノベーション（技術革新）の一つです。このイノベーションは，英国人技師を通して日本に導入され，日本の社会・経済の発展を支えてきました。鉄道総研も，鉄道技術の専門家集団として，新たなイノベーションを起こす意欲を抱いて研究開発に取り組みます。

本誌「RRR」をはじめとする鉄道総研の出版物では，研究開発によって新たに生み出される「鉄道力」を，迅速に，わかりやすく，効果を明らかにして，鉄道事業者の方々，鉄道を利用していただいている方々にお伝えしたいと考えています。読者の方々に，鉄道技術がよくわかった，もっとよく知りたい，と感じていただくことが，執筆者や編集者の喜びでもあり，より多くの読者にそう感じていただくよう，内容の充実，構成等とさらに工夫を重ねていきます。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。